

第75期 年次報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日



イサム 塗料株式会社

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第75期の事業の概況につきまして、次のとおりご報告申し上げます。



取締役社長

北村 倍章

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況やそれに伴う政策や各地方自治体の要請等に企業としての対応が必要とされる厳しい状況にあり、二度にわたる緊急事態宣言が発出されながらも、感染対策と経済活動の両立を目指す中、企業収益は依然厳しさが残りつつ、一部には改善の動きがみられます。個人消費については持ち直しの動きがみられますが、設備投資や雇用情勢は依然として弱い動きとなっております。また、期末にかけても新型コロナウイルス感染症収束の目途が立たない、先行きが不透明な状況が続いております。一方で世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられます。わが国においては、期末にかけての新型コロナウイルス感染症再拡大や原油価格の動向など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは一定の需要に

応えるべく事業活動を継続し、自動車補修用市場でのシェアの拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、71億59百万円（前年同期比4.4%減少）となりました。利益面につきましては、製品の統廃合や総原価低減に取り組んだものの、売上高の減少や物流コスト等の上昇により、営業利益は5億27百万円（前年同期比14.9%減少）、経常利益は7億1百万円（前年同期比10.9%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億10百万円（前年同期比5.5%減少）となりました。

分野別の販売状況は、自動車補修用塗料分野では、環境対応型製品として、主力の低VOCベースコート「アクロベース」やハイソリッドクリヤー「アクセルクリヤー」シリーズで市場占有率の向上を図るとともに、環境対応へ

の要請が強いユーザーを中心に特化則対応でPRTR法届出対象外の1液ベースコート「ハイアートNext」で新規ユーザーの獲得に努めました。さらに、水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」では主力ユーザーへの普及促進を行いました。また、大型車両分野では、トラック荷台床面の木部保護塗料「ウッドプロテクト」、高い防錆効果を発揮する「ハイアートCBエコ 防錆コート」で新規市場でのユーザー獲得に注力し、堅調に推移いたしました。さらに、調色作業を標準化・システム化した測色機「彩選短スマート」の販売を促進し、ユーザーの作業効率改善や若年者の技術教育に大きく貢献いたしました。

建築用塗料分野におきましては、主力の「ネオシリカ」シリーズに加え、JISA6021取得の外壁用塗膜防水材料「アトロンエラストマー」、抗ウイルス性、抗菌性、抗カビ性、消臭性に優れた内装用光触媒塗料「エアフレッシュ」など、各種用途に特化した製品を展開いたしました。また、タイル床面等滑り止めの「スキッドガードシリーズ」では、高耐久性を実現した無溶剤2液型ウレタン樹脂塗料「スキッドガードTOUGH」、水性1液型アクリルシリコン樹脂塗料「スキッドガードAQUA」の販売促進に取り組みました。

工業用塗料につきましては、ユーザーの環境重視志向を背景に「ハイアートCBエコ」の拡販に注力するとともに、従来の水性塗料と比較して乾燥性・光沢を大幅

向上させた1液型水性アクリル樹脂塗料「アクアシャインGA」において、引き続き個々のユーザーに対応して積極的な個別営業活動に取り組みました。

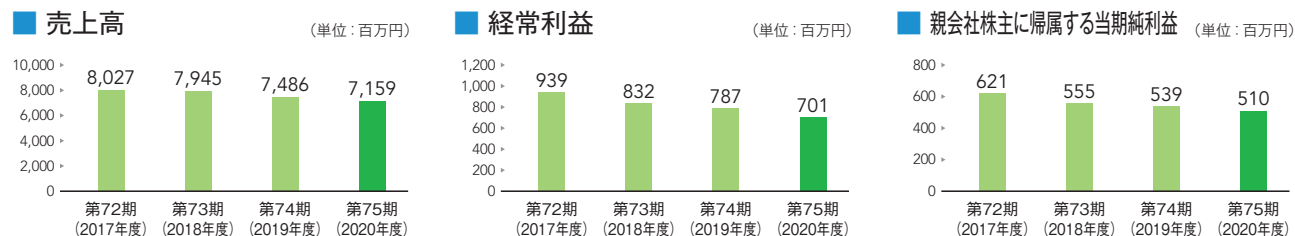
エアゾール分野におきましても、工業用向け補修用スプレー「エアラッカーエコ」が堅調に推移したほか、2液内部混合型エアースプレー「エアウレタン」、1液カラークリヤー「キャンディーカラー」の新色の追加、コロナ禍における巣ごもり需要の拡大によりDIY分野が堅調に推移しました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や感染拡大の影響が見通せず、先行きは極めて不透明な状況であります。当社グループを取り巻く状況も予断を許しませんが、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を進める中、ワクチンの普及効果があらわれ、人の往来が回復するにつれて当社グループの収益環境も徐々に回復してくるものと考えております。また、塗料業界におきましては、引き続き企業間競争が激しくなることが予想されます。このような状況の中、当社グループは、「お客様に一番近いメーカーであり続けよう」という経営ビジョンを掲げ、全社員一丸となって業績の向上に邁進いたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

業績ハイライト



連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2021年3月31日現在	2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	10,257,183	9,204,454
固定資産	8,683,834	9,133,887
有形固定資産	2,671,476	2,553,093
無形固定資産	36,701	46,094
投資その他の資産	5,975,657	6,534,700
資産合計	18,941,017	18,338,341
負債の部		
流動負債	2,118,302	2,058,719
固定負債	992,248	958,652
負債合計	3,110,550	3,017,371
純資産の部		
株主資本	15,153,909	14,740,204
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	13,635,586	13,221,408
自己株式	△ 982,207	△ 981,734
その他の包括利益累計額	280,221	196,851
その他有価証券評価差額金	280,221	196,851
非支配株主持分	396,337	383,915
純資産合計	15,830,467	15,320,970
負債純資産合計	18,941,017	18,338,341

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで	2019年4月 1 日から 2020年3月31日まで
売上高	7,158,525	7,485,871
売上原価	4,962,883	5,100,972
売上総利益	2,195,642	2,384,899
販売費及び一般管理費	1,668,570	1,765,867
営業利益	527,072	619,032
営業外収益	180,835	173,281
営業外費用	6,695	5,015
経常利益	701,212	787,298
特別利益	45,915	—
特別損失	5,955	20,478
税金等調整前当期純利益	741,172	766,820
法人税、住民税及び事業税	226,073	211,412
法人税等調整額	△ 9,253	△ 859
法人税等合計	216,820	210,553
当期純利益	524,352	556,267
非支配株主に帰属する当期純利益	14,850	17,180
親会社株主に帰属する当期純利益	509,502	539,087

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで	2019年4月 1 日から 2020年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	680,745	609,718
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 25,921	△ 673,256
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 107,491	△ 110,775
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	547,333	△ 174,313
現金及び現金同等物の 期首残高	2,635,938	2,810,251
現金及び現金同等物の 期末残高	3,183,271	2,635,938

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2021年3月31日現在	2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,547,209	7,682,281
固定資産	7,950,444	8,368,530
有形固定資産	2,005,063	1,871,874
無形固定資産	35,832	45,049
投資その他の資産	5,909,549	6,451,607
資産合計	16,497,653	16,050,811
負債の部		
流動負債	2,145,038	2,058,078
固定負債	785,052	783,793
負債合計	2,930,090	2,841,871
純資産の部		
株主資本	13,412,682	13,094,465
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	11,851,840	11,533,149
自己株式	△ 939,483	△ 939,009
評価・換算差額等	154,881	114,475
その他有価証券評価差額金	154,881	114,475
純資産合計	13,567,563	13,208,940
負債純資産合計	16,497,653	16,050,811

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	6,557,555	6,880,075
売上原価	4,699,292	4,834,603
売上総利益	1,858,263	2,045,472
販売費及び一般管理費	1,522,118	1,616,722
営業利益	336,145	428,750
営業外収益	200,753	194,272
営業外費用	6,532	4,994
経常利益	530,366	618,028
特別利益	45,915	—
特別損失	5,955	20,478
税引前当期純利益	570,326	597,550
法人税、住民税及び事業税	163,450	151,641
法人税等調整額	△ 7,139	489
法人税等合計	156,311	152,130
当期純利益	414,015	445,420

有機溶剤中毒予防規則に対応したイサム有機則フリーシステム

自動車補修市場においては、化学物質のリスクアセスメントや有機溶剤中毒予防規則（有機則）、特定化学物質障害予防規則（特化則）の改正など年々法規制が厳しくなっております。また、労働環境、人材問題など大変革期を迎えており、その課題解決につながるシステムが求められております。当社では水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」に加えて、水性クリヤー、水性ブラサフ、水性プライマーで構成される「ピュアWSシリーズ」と特化則該当物質のスチレンを含まないパテ「スチレンフリーパテ2」または光硬化型のパテである「ライトアップPlus」を組み合わせた「イサム有機則フリーシステム」として、作業環境改善と作業員への健康に配慮した塗料を提案してまいります。

ボディショップの法令対応を助ける補修システム！



大型車両用塗料への充実したラインナップによる市場への販売を強化

自動車補修用市場や大型車両市場では、求められる製品を素早く市場に投入するスピードが求められております。大型車両市場では、大型車両塗装システム「ハイアートCBエコ COM-BOY（コンボイ）システム」として多くの塗装シーンに対応できるシステムを展開。

また、「ハイアートCBエコ 防錆コート」は、特に塩害が多い地域を中心に大型車両下部への防錆塗料として活躍しており、採用が増加しております。さらにトラック荷台床面に使用されている木材の劣化対策として発売した木部保護塗料「ウッドプロテクト」がトラックオーナーの悩みを解決できる塗料として注目されております。

塗装で車両を長持ちさせる！大型車両用塗料！

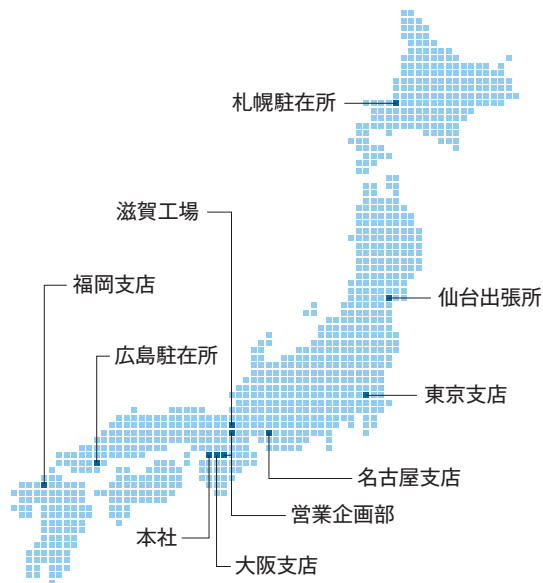


会社の概要

(2021年3月31日現在)

社名	イサム塗料株式会社
英文社名	Isamu Paint Co., Ltd.
設立年月	1947年7月
資本金	12億9,040万円
従業員数	190名
事業内容	塗料、塗装用機械器具の製造販売および 塗装工事請負
本社	〒553-0002 大阪市福島区鷺洲二丁目15番24号 電話 06-6458-0036
事業所	滋賀工場 営業企画部 東京支店 大阪支店 名古屋支店 福岡支店 仙台出張所 札幌駐在所 広島駐在所
連結子会社	イサムエアーゾール工業株式会社 明勇色彩株式会社 イサム土地建物株式会社 進勇商事株式会社

ネットワーク



役員の状況

(2021年6月29日現在)

取締役社長	北村 倍章
取締役	角井 和夫
取締役	深田 修也
取締役	山碕 昌之
取締役(常勤監査等委員)	横江 喜夫
社外取締役(監査等委員)	澤田 直樹
社外取締役(監査等委員)	櫻元 雄生

会計監査人

清稜監査法人

■ 詳しいIR情報は、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.isamu.co.jp/>



株式の状況

(2021年3月31日現在)

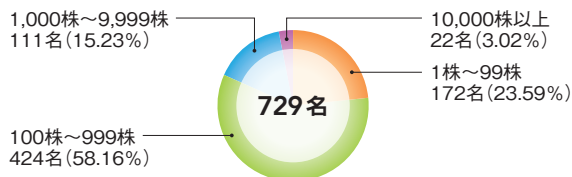
発行可能株式総数	9,600,000株
発行済株式の総数	2,400,000株 (自己株式493,647株を含む。)
株主数	729名
単元株式数	100株

大株主の状況 (上位10名)

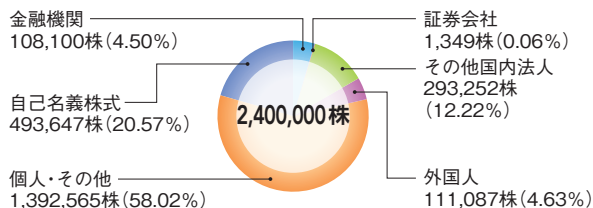
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
北村初美	443	23.24
北村健	442	23.19
イサム塗料栄勇会	248	13.02
第一生命保険株式会社	93	4.89
長瀬産業株式会社	36	1.88
光通信株式会社	27	1.44
石原産業株式会社	24	1.25
イサム塗料従業員持株会	21	1.13
株式会社ダイセル	21	1.13
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	19	1.03

(注) 1. 当社は、自己株式を493,647株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有株式数別株主分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 http://www.isamu.co.jp/ir/notification
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物ご送付先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
お問い合わせ先	☎0120-094-777 (通話料無料) (受付時間: 土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)
ホームページURL	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

【ご案内】

- 単元未満株式の買増制度について
単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の株主様は、お手元の単元未満株式を1単元(100株)となるよう買増し請求することができます。
また、単元未満株式について買取り請求することもできます。
- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。